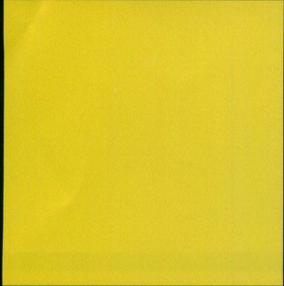
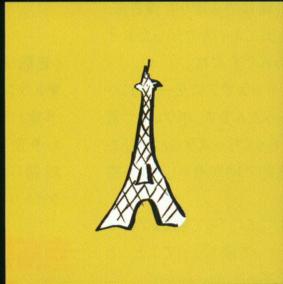




Daniel TOSCAN du PLANTIER et  
Patrice HADDAD présentent  
**Quadrille de Sacha GUITRY**  
Un film de Valérie LEMERCIER



Scénario de Sacha GUITRY  
Avec Lise LAMETRIE  
Franck de LA PERSONNE Didier BENUREAU  
Directeur de la Photographie  
Antoine ROCH  
Décors Pierre LE TAN  
Costumes Vincent DARRÉ  
Son Rolly BELHASSEN  
Mixage Eric TISSERAND  
Montage Dan FACUNDO  
Nicole PELLEGRIN  
Musique Bertrand BURGALAT  
Producteurs Délégués  
SFP CINEMA / TSH  
Coproducteurs FRANCE 2 CINEMA /  
FILMS CHRISTIANI  
Producteur Associé Patrice HADDAD  
Producteur Exécutif PREMIERE HEURE  
Avec la participation de la SOFICA  
SOFINERGIE 4 et de CANAL+



カドリーユ

# Quadrille

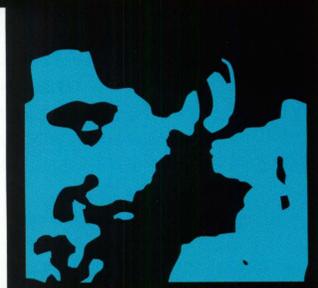
de Sacha GUITRY



Soundtrack L'appareil PHOTO  
Film Distribution ACE PICTURES, INC.

Par le concours de

**TRANS CONTINENTS**



Daniel TOSCAN du PLANTIER et  
Patrice HADDAD pr sentent

|カ|ド|リ|ー|ユ|

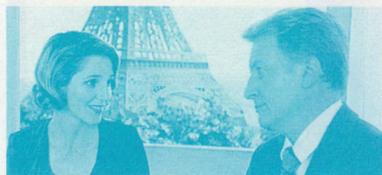
# Quadrille

de Sacha GUITRY

Un film de Val rie LEMERCIER

Val rie LEMERCIER, Andr DUSSOLLIER  
Sandrine KIBERLAIN, Sergio CASTELLITTO

コメディエンヌとして、あるいはフレンチ・ポップスのミュージシャンとして、人気者のパリジェンヌ、ヴァレリー・ルメルシェが初めて映画を監督しました。男女4人の恋愛劇を、会話、衣装、インテリア、音楽すべてに、ヴァレリーならではの、あまりにパリのな、ファンシーでブルジョアジーなイメージを表現。涙と笑いの90分。



●監督・主演：ヴァレリー・ルメルシェ ●原作：サッシャ・ギトリー ●音楽：ベルトラン・ブルガラ（サントラ：ラバレイユ・フォト） ●美術：ピエール・ルタン ●出演：ヴァレリー・ルメルシェ（『おかしなおかしな冒険者』『サブリーナ』）／アンドレ・デュソリエ（『赤ちゃんに乾杯』）／サンドリーヌ・キペラン（『哀しみのスパイ』）／セルジオ・カステリット（『明日を夢見て』）

エッフェル塔から始まる最初のカットだけで、僕は確信しました。この作品はもともとサッシャ・ギトリーという戯曲作家の作品の映画化ということもあって、〈舞台を映画の中に持ち込んだ〉という感じのセットの中で繰り広げられる戯曲のコメディ。パリの街も粋なパリジェンヌも一切登場しないんだけど、窓にうつったエッフェル塔ですべてはフレンチ！ピンク、グリーン、イエローでまとめられたセットや洋服もすごくチャーミング！映画全体のカラーのトーンやカメラワークはもちろん、ちょっとしたセリフ、演技や表情なんかの細かいところまで気がきいて、さすがはヴァレリー！と驚喜してしまいました。カラフルでシック、悲劇的でコミカル。そしてエレガントなエスプリももちろん忘れずに。一大スペクタクルな娯楽大作ではないけど、さっとみんなをクッスとさせてくれるトレ・ジョリーなプチ・シネマです。個人的な思い入れもいろいろあるけど、この「カドリーユ」、ここ数年のフランス映画の中のプチ傑作と言い切っちゃいましょう。この度とうとう日本での公開も決まって、〈L'appareil-PHOTO〉もサポートというかたちでこの作品がみなさんに届けられるのをホントうれしく思っています。

——梶野彰一（L'appareil-PHOTO）

ぼくはこの映画を観て、大昔観た「芝生は緑」という映画と、ジャン・ルノワールの「ゲームの法則」、それ

に歌手のLIOが主演していた「ゴールデン・エイティーズ」という映画を想い出しました。そうそう、もう一本、むかしテレビ東京のお昼の映画劇場で観た「ピーター・セラーズのマウス」という映画も。

そしてベルトランの音楽の素晴らしさ。かつて一度逢って話したときに、お互いに音楽的な共通項が、などと書きましたが、ここでのベルトランの音楽ははるかに遠くの、巨匠の域にあると想いました。

2人がこのままCDでも映画でもコンビを続けていくのなら、21世紀も悪くはない、という気分です。

——小西康陽（PIZZICATO FIVE）

ボクが初めてヴァレリー・ルメルシェを知ったのは女優や監督としてではなくボーカリストとしてでした。そう!! この映画の音楽をやっているベルトランとのユニット「ヴァレリー・ルメルシェ・シャントウ」♡このCDとの出会いは本当に大きかったですよ! ボクにとって!! でもヴァレリーの本職はやっぱり女優さん、大好きな「五月のミル」にも出てた（後で知った）、それにこんな映画も作っているんですね。

そんな彼女を捕まえてノー・ギャラでプロモーション・ビデオに出演してもらっちゃったんです、ボクは。“君の♡のナチュラル”でね。めっちゃチャラっと伸びた背と大きなサングラスが印象的で何か凜々しさを感じました。エスプリというかね。

しかしその後ヴァレリーの“95C”って曲のプロモを見て感じたのは「ヴァレリーって変!?」ってこと。とにかく動きや表情が妙なんです。

そしてこの「カドリーユ」はその世界の拡大形!? ヴァレリーの存在はもう異彩放ちっぱなしで、やっぱり少し妙でして本当に愛しいんです。そんな彼女に甘い夢を見る今日この頃のボクなのです。

——カジヒデキ



始まってから、心奪われっぱなし。おしゃべりとか、洋服とか、音楽に至る細部にわたって。観た後、全てにうれしくてほくそ笑んでしまいました。とにかくヴァレリーに万歳。

——加藤紀子



●97年／フランス映画 ●後援：ユニフランス・フィルム・インターナショナル ●協力：ラバレイユ・フォト ●協賛：トランスコンチネンツ ●配給：エースピクチャーズ

TRANS CONTINENTS



[先取り情報]

♥トランスコンチネンツよりオリジナルTシャツ発売予定! ♥3月ヴァレリーが日本にやってくる! イベントも予定! ♥ラバレイユフォトよりヴァレリーの新曲を収録したTRICATELのコンピレーションアルバム2タイトル発売中!

京阪神独占レイトロードショー!

7月18日(土)~8月7日(金)

連日PM8:55~(夜7PM10:30)

同時上映：ヴァレリー・ルメルシェ「95C」プロモ・フィルム

♥レコード付前売鑑賞券¥2,400 ♥  
♥一般前売鑑賞券¥1,400 ♥

絶賛発売中! (当日一般 ¥1,700の処)

■レコード付前売券は劇場窓口のみの発売です(数に限りアリ)。  
■一般前売券は窓口、EST-1、心斎橋バルコ、心斎橋そごう、びあ、ローソン他市内主要PGにてお求め下さい。

心斎橋アメリカ村 ビッグステップ4F パラダイスシネマ  
06-282-1460